

(様式4)

公共事業事後評価調書(案)

番 号	教育-1	事業担当局課	教育委員会事務局学校計画課 教育施設課	
事業名	田奈・奈良中学校第二方面校(仮称)整備事業 [あかね台中学校整備事業]		完了年度	平成22年度
施工場所	横浜市青葉区あかね台二丁目8番地の2		経過年数	6年
目的及び 事業概要	<p>目的 田奈中学校(緑区)および奈良中学校(青葉区)の過密化を解消するとともに、生徒の教育環境の向上を図るため、青葉区内の学校予定地に中学校を新設し、教室数不足を解消しました。</p> <p>事業概要 ・用地取得のうえ校舎・体育館等を整備し、中学校を新設しました。 工事期間 平成21年10月～平成23年3月 開 校 平成23年 4月 総事業費 25億6,172万円(建物23億6,669万円+校地1億9,503万円)</p> <p>施設内訳 ・敷地面積 21,514 m<sup>2</sup> ・延べ床面積 11,654.23 m<sup>2</sup> ・構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 ・規模 地上2階建て 一部3階建て ・高さ 12m(3階建て部分) 普通教室 (18CR) 個別支援教室 (3CR) 特別教室 (13CR) その他 管理諸室、屋内運動場、武道場等</p>			
要因の変化 ・ 事業計画の 変更の経緯 等	<p>事業費や事業期間、施設の利用状況等について、大きな変更はありませんでした。</p> <p>なお、本事業は田奈中学校及び奈良中学校の生徒数増加に伴う分離新設事業であり、一般的に、学校整備事業について、「B/C(費用対効果分析)」の概念は導入していません。</p>			
事業の効果の発現 状況 (費用便益分析等)	<p>① 教室数不足の解消 田奈・奈良中学校第二方面校(あかね台中学校)の建設(平成23年度開校)により、田奈中学校・奈良中学校において、過大規模校及び大規模校の問題点</p>			

	<p>を解消しました。</p> <p>② 配置等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通風・採光に配慮した建築計画とし、良好な学習環境を確保しました。</li> <li>・外観のデザインや開放感のある中庭など、魅力的な空間を創出しました。</li> <li>・北側校舎を2階建てにするなど、周辺に配慮した計画としました。</li> <li>・地域ケアプラザと体育館・地域交流室を近接して配置し、地域交流ゾーンを形成しました。</li> <li>・生徒、教職員、保護者、地域住民等の多様な人々が利用しやすいようにバリアフリーとしました。</li> <li>・特殊な材料、工法を極力用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。</li> <li>・周辺住宅へ配慮し、学校周辺を緑化しました。</li> <li>・環境へ配慮し、太陽光発電設備を屋上に設置しました。</li> </ul>		
	<p>費用便益分析 (検討年数： 年)</p>	<p>総便益(割引後)</p>	<p>—</p>
		<p>総費用(割引後)</p>	<p>—</p>
		<p>費用便益比</p>	<p>—</p>
<p>対応方針 (案)</p>	<p>本中学校は、平成 23 年度一般学級数 18 学級で開校し、平成 28 年度義務教育人口推計では、平成 34 年度には 12 学級になると推計しています。</p> <p>今後、学級数が減った場合でも、学校教育活動上、必要な教室として、習熟度別指導や総合学習などで使用しますので、今後も当初計画通り施設を活用していきます。</p>		
<p>添付資料</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>		